

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 1 月 12 日 (2017.1.12)

【公開番号】特開 2016-182479 (P2016-182479A)

【公開日】平成 28 年 10 月 20 日 (2016.10.20)

【年通号数】公開・登録公報 2016-060

【出願番号】特願 2016-147471 (P2016-147471)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 11 月 14 日 (2016.11.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定条件の成立に基づいて抽選を行う抽選手段と、
 該抽選手段による前記抽選の結果に応じて遊技の進行を制御する遊技制御手段と、
 前記遊技が行われる遊技領域と、
 該遊技領域を遊技者側から視認可能にする遊技窓部を備えた枠体と、を備える遊技機であって、
 前記枠体は、
 前記遊技窓部の下方に配置され遊技球を貯留する遊技球貯留皿を備えた皿ユニットと、
 前記遊技窓部の外縁に略沿って当該遊技窓部の外側に配置され、前記遊技の進行に伴って実行される遊技演出に関連して発光可能な周発光手段と、
 前記遊技窓部から離れる方向に所定の幅を有して前記周発光手段の前側を被覆すると共に透光性を有する周装飾部と、
 前記周発光手段を構成する複数の周発光部の周方向の間に配置され、前記遊技演出に関連して発光可能な分割発光手段と、
 前記遊技窓部から離れる方向に所定の幅を有して前記分割発光手段の前側を被覆すると共に少なくとも一部に透光性を有する分割装飾部と、を具備し、
 前記周発光手段と前記分割発光手段とは、前記遊技演出に関連して互いに異なる発光色に制御可能とされ、
 前記周発光手段の複数の周発光部は、それぞれ別の系統に分けられており、前記複数の周発光部ごとに発光制御可能とされ、
 前記分割発光手段の周方向の長さよりも前記周発光部の周方向の長さを長く設定し、
 前記皿ユニットの前縁付近には前記皿ユニットを発光装飾する皿ユニット発光手段を設け、
 さらに前記遊技球貯留皿と前記皿ユニットの前縁の間に内部に発光体を設けた操作部を備え、
 それぞれ別の系統に分けられる少なくとも 1 つの前記周発光部と少なくとも 1 つの前記分割発光手段とを同一基板上に設けた
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、遊技機に関するものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来より、遊技盤の前面に形成される遊技領域の中央付近に液晶表示装置で構成される演出表示装置が設けられている遊技機としてのパチンコ遊技機が提案されている（例えば、特許文献1）。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

この種の遊技機では、遊技領域の前面を閉鎖し開閉可能に支持された扉枠を備えており、扉枠に形成された遊技窓を介して遊技者側から遊技領域が視認できるようになっていると共に、遊技窓の前面外周にLED等の発光手段によって発光装飾可能な装飾体が備えられている。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

【特許文献1】特開2010-194236号公報

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

ところが、従来の遊技機では、発光装飾によって遊技者に与えられるインパクトが一過性のものとなり易く、遊技者によっては早期に見慣れてしまい、装飾体による発光装飾を楽しめなくなったり、他の遊技機へ関心が移り易くなってしまったりして、遊技に対する興味が低下するおそれがあった。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、遊技興味の低下を抑止することができる遊技機を提供することにある。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項 1 に記載の発明は、所定条件の成立に基づいて抽選を行う抽選手段と、
該抽選手段による前記抽選の結果に応じて遊技の進行を制御する遊技制御手段と、
前記遊技が行われる遊技領域と、
該遊技領域を遊技者側から視認可能にする遊技窓部を備えた枠体と、を備える遊技機で
あって、
前記枠体は、
前記遊技窓部の下方に配置され遊技球を貯留する遊技球貯留皿を備えた皿ユニットと、
前記遊技窓部の外縁に略沿って当該遊技窓部の外側に配置され、前記遊技の進行に伴っ
て実行される遊技演出に関連して発光可能な周発光手段と、
前記遊技窓部から離れる方向に所定の幅を有して前記周発光手段の前側を被覆すると共
に透光性を有する周装飾部と、
前記周発光手段を構成する複数の周発光部の周方向の間に配置され、前記遊技演出に関
連して発光可能な分割発光手段と、
前記遊技窓部から離れる方向に所定の幅を有して前記分割発光手段の前側を被覆すると
共に少なくとも一部に透光性を有する分割装飾部と、を具備し、
前記周発光手段と前記分割発光手段とは、前記遊技演出に関連して互いに異なる発光色
に制御可能とされ、
前記周発光手段の複数の周発光部は、それぞれ別の系統に分けられており、前記複数の
周発光部ごとに発光制御可能とされ、
前記分割発光手段の周方向の長さよりも前記周発光部の周方向の長さを長く設定し、
前記皿ユニットの前縁付近には前記皿ユニットを発光装飾する皿ユニット発光手段を設
け、
さらに前記遊技球貯留皿と前記皿ユニットの前縁の間に内部に発光体を設けた操作部を
備え、
それぞれ別の系統に分けられる少なくとも 1 つの前記周発光部と少なくとも 1 つの前記
分割発光手段とを同一基板上に設けたことを特徴とする。
また、本発明とは別の発明として以下の手段を例示する。

(解決手段 1)

操作に応じて操作信号を出力する操作部と、演出表示装置による演出表示制御を行うことができる演出表示制御手段と、を備える遊技機であって、前記遊技機は、さらに、電源断された状態であっても前記演出表示装置のバックライトの輝度を輝度情報として記憶保持する輝度情報記憶保持手段と、前記演出表示装置を最初に電源投入した初回電源投入日時を記憶保持する初回電源投入日時記憶保持手段と、現在の年月日を特定するカレンダー情報と現在の時分秒を特定する時刻情報とにより現在日時を記憶保持する現在日時記憶保持手段と、を備え、前記演出表示制御手段は、少なくとも、予め定めた条件が成立したときに前記操作部からの操作信号が入力されたことに基づいて前記演出表示装置のバックライトの輝度を再調節する輝度再調節制御手段と、該輝度再調節制御手段が再調節する前記演出表示装置のバックライトの輝度を前記輝度情報記憶保持手段に記憶保持される輝度情報として更新記憶する輝度情報更新記憶制御手段と、を含み、前記輝度再調節制御手段は、前記予め定めた条件が成立したときに前記操作部からの操作信号が入力されたことに基づいて前記演出表示装置のバックライトの輝度を再調節する際に、前記初回電源投入日時記憶保持手段に記憶保持される初回電源投入日時と前記現在日時記憶保持手段に記憶保持される現在日時とに基づいて当該演出表示装置のバックライトの経年変化にともなう輝度の低下を補正した輝度とし、前記演出表示制御手段は、前記遊技機への電源投入が行われ

ると、前記演出表示装置による演出表示制御を開始する準備として、前記輝度情報記憶保持手段に記憶保持される輝度情報を取得し、該取得した輝度情報から前記演出表示装置のバックライトの輝度となるように当該演出表示装置のバックライトの輝度を調節することを特徴とする遊技機。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明の遊技機においては、遊技興趣の低下を抑止することができる。